

児童発達支援に係る自己評価結果公表用

公表日： 2019年4月8日

事業所名： こどもプラス伊予教室

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	9	0	0	定員人数に適したスペースがとれていると思います。 児童・放デイと各スペースをとっており、支援していくのに十分なスペースはあると思います。	12	0	0	1	最初に見学に行った時は部屋も環境が整っており、生徒数・職員数も適切だと感じました。
	2 職員の適切な配置	9	0	0	利用定員人数に対して適切な職員配置ができています。 児童の人数に応じた指導員(保育士・児童指導員)を配置しています。	9	0	0	4	1年のうちに、生徒数も増え、職員数も増え、教室も広くなったので、今の環境がどうか正直分かりません。ただ、先生方が信頼できる方達なので、本人も楽しく参加できていますし、満足しています。できれば1度見学してみたいです。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	3	6	0		11	0	0	2	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	9	0	0	環境整備を行い、安全に過ごせるように気を付けている。危険のないよう床もマットを敷き詰めています。	12	0	0	1	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	9	0	0	職員全体でミーティングの時間を設け、各職員の意見が取り入れられています。	/	/	/	/	/
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	6	1	0	保護者にアンケートを実施し、保護者側からの意見も取り入れています。	/	/	/	/	/
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	9	0	0	ホームページに掲載しています。	/	/	/	/	/
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	8	3	0	運動保育士会より、定期的に研修会を設け、意見、指導を頂いています。	11	2	0	0	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	8	0	0	内部研修、外部研修に各職員が参加しています。	11	2	0	0	
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	8	1	0		/	/	/	/	/

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供（続き）	4	9	0	0		11	2	0	0	様子やこれができたなどお知らせがあると分かりやすいです。	
	5	7	2	0	全職員で案を出し合っています。						
	6	9	0	0	地域行事や園外活動、室内活動と様々な活動を提供できるよう工夫しています。 毎日固定化しないようにしています。 外出先等も子ども達が新しい体験・経験ができ、楽しみが増えるよう提案・計画を行っています。 全体（ミーティング等）でそれぞれの職員の意見を取り入れ、プログラムを考えています。	11	0	1	1		
	7	9	0	0	季節、時間に沿ったものを提供しています。 室内行事、外出行事を設定して計画を実施しています。						
	8	8	1	0	朝のミーティングで話し合いをし、確認しています。 朝のミーティングで前日の送迎、活動内容、個人の支援内容、注意点等の確認を行うようにしています。また、休日職員にも伝達できるよう連絡報告ノートを作成しています。						
	9	9	0	0	ミーティングで共有しています。						
	10	9	0	0	その日の児童の支援日誌、活動の様子が分かるよう写真におさめ、また保護者に分かりやすいようにノートに掲載し配布しています。						
	11	8	1	0	定期的にモニタリングを行い、職員全体で必要性に応じて話し合いをしています。						
関係機関との連携	1	9	0	0	総括責任者、管理者で参加しています。						
	2				（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	8	1	0		/	/	/	/		
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	7	2	0		/	/	/	/		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	8	1	0		/	/	/	/		
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	2	7	0		7	0	1	5		地域行事やイベント等を通して交流が取れるよう行事を行っています。今後も機会を設けていきたいと思ひます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	5	4	0	地域の行事にもできるだけ児童と参加し、交流しています。地域住民との交流を図り、地域行事への参加をしています。	/	/	/	/		
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	9	0	0	契約時に分かりやすく説明を伴っています。	12	0	0	1		
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	9	0	0	丁寧に説明を行っています。	7	11	1	4		
保護者への説明責任・連携支援	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	3	5	0		11	2	0	0		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	9	0	0	送迎時、その日の様子(活動内容等)を毎回伝えている。 また、児童の行動等について話し合い、共通理解を求めている。 連絡ノートに写真を掲載したりホームページで子どもの状況を常に伝えられるようにしています。	8	4	0	1		
	5	9	0	0	相談があった場合、教室に持ち帰って話し合い、保護者へ連絡するようにしている。 保護者からの相談に応じ、適切な対応をしていると思います。 相談内容、管理者に伝え、適切に助言支援を行っています。	0	0	7	6	ぜひしてほしいです。 他の保護者を知りません。	
	6	0	7	2	保護者同士の関わりの機会がないため、そういう機会を検討していきたいです。	4	1	0	8		保護者を交えた交流会等を行えるよう検討中です。
	7	9	0	0	報告・連絡・相談を徹底し、保護者への早めの連絡を行うように心がけています。 苦情が出た場合、管理者に伝え対応しています。	11	2	0	0		
	8	9	0	0		12	0	0	1		
	9	5	4	0	毎回の利用の様子を写真でノートに掲示し、出来たこと、挑戦していることを分かりやすく伝えていきます。	13	0	0	0	今後小学校に上がるので改めて把握したいです。	
	10	9	0	0	個人情報には十分配慮しています。	8	1	3	1		
非常時等の対応	1	6	3	0	教室、事務所に分かりやすく掲示しています。	7	1	0	5	いつも前向きな言葉が聞かれます。 出来る事が増え、本人も自信をつけているようです。	
	2	9	0	0	避難訓練や消防体験等を行い、非常事態に対して、落ち着いて行動出来るよう定期的に訓練を行っています。	12	1	0	0	小学生になるとどのような支援になるのか詳しく知りたいです。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	7	2	0	虐待に対する園内研修の機会を設けています。	12	0	0	1		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	5	4	0	事例がありません。						
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	5	4	0	食物アレルギーについて契約時に保護者に確認をとっています。						
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	8	1	0	ミーティング等でヒヤリハットの事例を報告し、どのような対応の必要があったかの話し合いを行っています。						